

恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案に係る危険性判断チェック票の活用について

必要性

恋愛感情等のもつれに起因する暴力的事案は、事態が急展開したりするおそれを内包
その危険性を見極めることが必要



危険性判断に当たっての参考資料とするため、司法精神医学の専門的知見により作成した
「危険性判断チェック票」を活用

試行と見直し

チェック票作成のため、
試行を実施

今後もデータの集約・
分析を行い、チェック票
は適宜見直しを図る予定

ストーカー・DV事案の認知(相談、110番等)

チェック票の作成

事案概要の聴取

相談者が記入

相手方についての項目 26問

例「注目を浴びたい等の欲求が強い」「あなた(相談者)を侮辱する」等

相談者についての項目 8問

例「相手の話に付き合ってしまう」等

警察官が記入 7問

判定プログラムへデータ入力

相談等受理時に入力・判定

当てはまらない / 深刻ではない

たまに当てはまる / 深刻である

よく当てはまる / 非常に深刻である

分からない / 不明 行為者不詳

The screenshot shows a software interface for entering data into a judgment program. A dialog box titled '判定結果' (Judgment Result) is open, displaying '危険性判定結果' (Dangerousness Judgment Result) as '高度' (High). The interface includes fields for '加害者性別' (Perpetrator Gender) and '被害者性別' (Victim Gender), and a '終了' (End) button.

危険性判定結果 (4段階)

極めて高い

高度

中度

低度

組織的な危険性判断

判定結果を事案概要とともに署長・本部対処体制へ速報

**危険性判断チェック票の判定結果のほか、事案の聴取内容等を総合的に判断し、
事案に対する対応措置を決定**